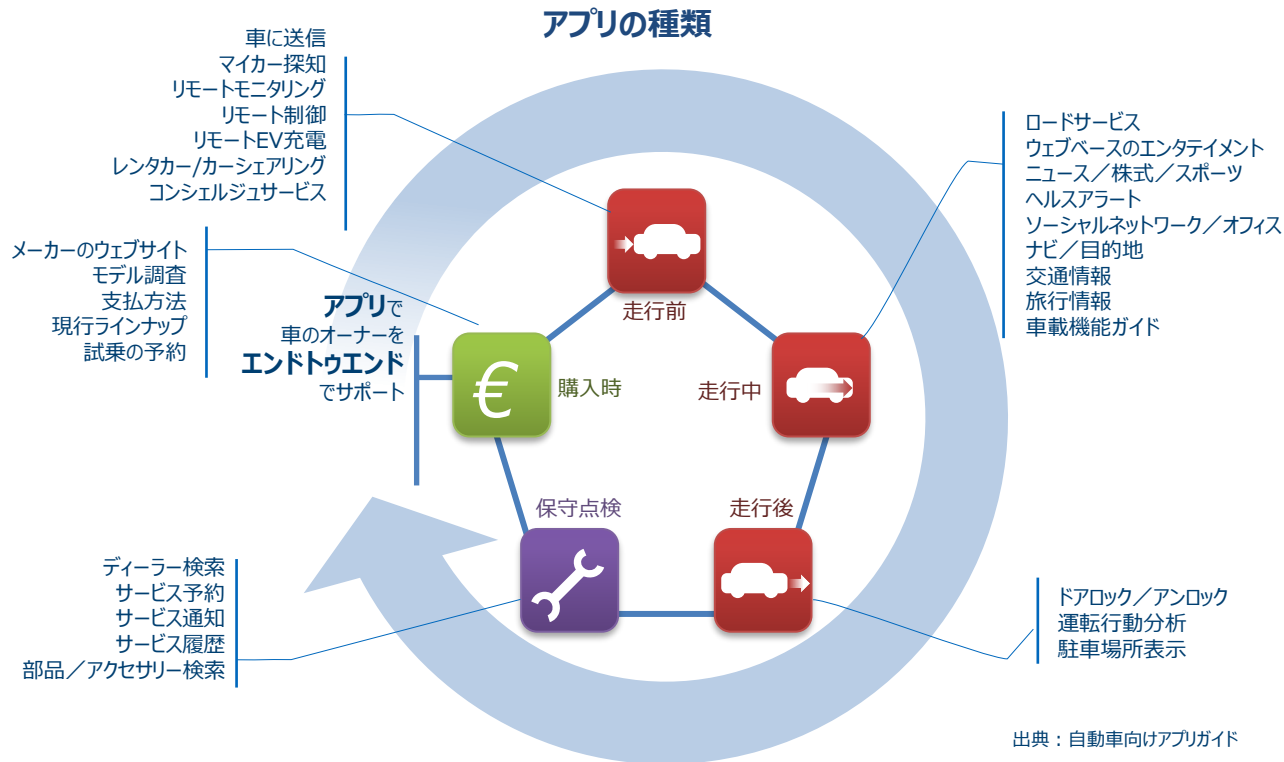


アプリはデバイス、ポータブルデバイスの用途や使用法を決定付ける要素です。アプリの定義は年々拡大しており、車やポータブルデバイスで提供される数々の機能もその定義に含まれるようになってきています。

ユーザーが日常的に利用している家電の機能を車内でも使用可能にするために、自動車メーカーやアプリ開発業者は自動車向けアプリや車内利用と想定したアプリを提供しており、現在その数は数百に及びます。

SBDでは自動車向けアプリ市場の調査を継続的に行っており、市場の全体像と、OEM各社が提供する各アプリの要旨、アーキテクチャ、利用シーンなどを含むアプリ情報をまとめたレポート「自動車向けアプリガイド」を四半期ごとに発行しています。



最新の動向

<p>メーカー別提供状況</p> <p>利用シーンおよび機能別での各メーカーのアプリ提供状況を、比較しやすいよう一覧で掲載</p>	<p>ユーザーの評価</p> <p>各メーカーが提供するアプリに対するユーザーの平均評価、注目のアプリなどを紹介</p>	<p>アプリ実装の動向</p> <p>アプリの格納場所およびアプリの開発者に基づき、アプリを4つのタイプに分類</p>	<p>煩雑化の傾向</p> <p>メーカーの目指すべきアプリ数を利用シーンの数との相関関係と併せて解説</p>	<p>ビジネスモデルの動向</p> <p>メーカーによるアプリの開発費や回収方法について紹介</p>
--	---	--	--	---

OEM別アプリ

本セクションでは各メーカーが提供しているアプリの利用シーン、O/Sプラットフォーム、アーキテクチャ、課金モデル、ユーザーレビューなどを詳細に掲載しています。

* 欧州編、米国編、中国編に掲載しているメーカーの一例





自動車向けアプリガイド



レポート番号: CON531
四半期更新予定

本書では、欧州・米国・中国における自動車向けアプリ市場の最新動向と各OEMが提供するアプリの要旨や利用シーン、課金モデルなどの詳細を掲載しています。また、Android AutoやCar Playなどの画面複製ソリューションとSBDが推奨する今後導入を検討すべきアプリについて紹介しています。本書は欧州編、米国編、中国編の3部構成で四半期ごとの更新を予定しています。

OEM別アプリ

本セクションではOEM各社が提供しているアプリのまとめと各アプリの詳細について紹介。

アプリ情報

アプリが採用しているコネクティビティソリューション、開発者、種類

要旨

アプリに関するまとめ

アーキテクチャ

スマートフォン(スタンドアロン、統合、リモート制御)、車載(クラウド、ネイティブ)

課金モデル

初期費用、登録料、アプリ内課金

利用シーン

SBDが定義した購入時、走行前、走行中、走行後、保守点検における利用シーンでの分類

ユーザーレビュー

アプリに関するユーザー評価とフィードバック

画面複製

検討すべきアプリ

画面

実際のアプリ画面を掲載

本セクションでは画面複製ソリューション (Android Auto、CarPlay、CarLife、MirrorLink1.1) ごとの対応アプリとその詳細について紹介。

本セクションでは車への導入で成功が見込めるが提供している自動車メーカーが少ない、もしくは全くないアプリについて紹介。

